

## 第2編 第2章 産業と資源

### ⑥工業の立地と工業地域の内容

#### 4 現代世界の工業と多国籍企業② ―エレクトロニクス産業― (教科書 P.142~143)

##### ▶企業内国際分業の進展 [p.142]

① [ ] 産業：部品工業と製品工業

→それぞれに特有の立地

先端技術産業（革新スピードが [ ]）…製品開発，工程革新のきびしい競争

・ [ ], [ ], [ ]

立地条件…世界の技術・市場情報，先端的な研究者，高度な技術者

→立地… [ ], [ ] 工業地域

・ [ ] 工場

→立地… [ ] の有利， [ ] に近接

・ [ ] の組立工場

→立地… [ ]

・ [ ] が必要な部品・製品

→立地… [ ] (技術の集積，精密な機械の駆使)

②企業内分業

→企業の本社，研究・開発部門，試作工場，部品工場，製品工場が世界の異なる国・地域に立地（高度な情報通信網で結合）

##### ▶企業内分業と新興工業国 [p.143]

①多国籍企業のオフィスと工場の配置

→ [ ], [ ], [ ] に新たな産業集積をもたらしている

・労働集約的な電子・電機部品（1970年代）

→先進国からの技術移転

→ [ ] な製品（集積回路（IC），パソコン）の生産へ

家電の生産：白黒テレビ→カラーテレビ→液晶・プラズマテレビ

→多国籍企業は， [ ] と発展途上国の [ ] にあわせて立

地工場の製品転換

②本国…本社（管理部門）、研究・開発部門のいっそうの強化

- [ ] 企業（管理と研究・開発機能に特化）の出現  
→ [ ] や [ ]（生産のみをファブレス企業から受託）の急増  
…アジア NIES, 中国, ASEAN
- 情報産業（ソフトウェア）でも同様の形態が出現  
→インド（[ ]）、台湾, 中国（ペキン中関村）：新たな産業地域